

# KTK

## NO. 76

後援会費郵便振替口座  
01070-7-32145  
あらぐさ後援会

# あらぐさ通信

編集 集 あらぐさ後援会

編集協力 社会福祉法人あらぐさ福祉会

〒617-0813 京都府長岡京市井ノ内広海道4-3

TEL 075-953-9212 FAX 075-953-9215



「みんなの願い」を付けた色とりどりの風船が、大空に舞い上がりました。（6月19日「『あらぐさ集合型ケアホーム』建設をめざす みんなのつどい」 詳細は2～3pをご覧ください。）

# とどけ！ 風船に乗って ぼくらの願い

# ホーム」建設をめざすみんなのつどい

## 建設に向けて楽しく、笑顔で交流

六月十九日、梅雨空をはねのけて「みんなのつどい」があらぐさで開かれました。

仲間の「ARAGUSA23」による「365歩のマーチ」合奏パフォーマンス、あらぐさ会（家族会）は青色のオリジナルTシャツを着て、4名の親の訴えと振りのついた「ひよっこりひよったん島」の合唱で会場を盛り上げました。



バザーの売り上げは建設資金に寄付されました



「ARAGUSA23」の元気なパフォーマンス



堀江幸男さんの腹話術



「おとくにバオ」さんの迫力ある演舞の披露



「クラング長岡」さんによるハーモニカ4重奏

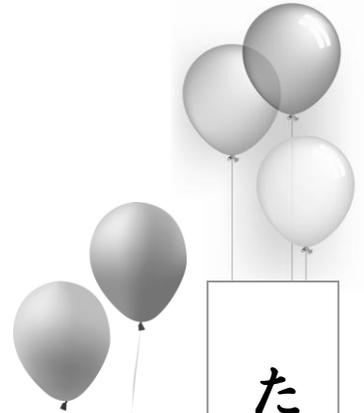


利用者みなさんは、出し物におおいに盛り上がりました

- 風船につけられた  
メッセージより
- みんなといっしょにケアホームですみたいです
  - 長岡京にくらしつづけて、あらぐさでさをりおりやお花とクッキーをやりつづけたい。あとけっこうなもしたい
  - 一人ひとりが尊重される生きやすい世の中に
  - すきなうたをたくさんきけますように
  - でんしゃがいっぱいみれますように
  - みんながげんきでいられますように
  - つかれたらゆっくりやすめますように
  - おいしいものをいっぱい食べたい
  - みんなに合ったホームをつくりたい
  - 「ケアホーム」建設のカンパがいっぱい集まるように！
  - たった一つの命大切に 健康

# 6月19日「あらかさ集合型ケア

あらかさ会のお母さん方による訴えと「ひよっこりひょうたん島」



たった一つの命 大切に

「つどい」最後のイベントは、参加者全員による願いを書き込んだ風船とばしです。4人の仲間の願いが紹介され、200個の風船を、気持ちをこめて大空にとばしました。ケアホーム早期建設の決意を確かめ合った一日でした。

「私の願い」を聞いてください。



風船、どこまで飛ぶかなあ？



人気の模擬店・焼きそば

職員デザインのTシャツが作られ好評でした。ホーム建設応援グッズとしてタオルや手ぬぐいが販売されました。

でありますように  
 ケアホーム乙訓にあちこちに  
 たくさんつくりたい  
 みんなの願いであるケアホ  
 ム実現のため、力を合わせて  
 ガンバルゾー！  
 生まれ育ったこの町が大好き  
 です。ずっとここでくらし  
 たいです  
 障害者の住みやすい街はみ  
 んなに住みやすい街です！  
 とどけみんなの思い。夢は実  
 現せねばただの夢  
 仲間と過ごせるケアホーム早  
 くほしいです  
 この乙訓にずっとみんなの笑  
 顔がありますように！  
 たくさんの利用者がケアホ  
 ムに入れますように  
 自立出来ますように  
 ケアホーム楽しみです。元氣  
 がです

# あらぐそと共に24年

共同作業所あらぐさが、1986年に光明寺門前で開所した最初のメンバーの一人である猛さん（41歳）のお母さん（77歳）にお話しをうかがいました。（取材▶前田幸子・真殿尊子）

## 無我夢中で子育てと仕事

猛さんは、小学校3年生のとき、西京区の桂から東京都に引っ越してきました。2歳のとき、「言葉が少ないことが気になり病院での診察や児童相談所、大学のクリニックでの相談を受けたとき、「自閉症」と診断されました。

「自閉症」について、今のうちに教育福祉の現場でも指導法や研究が進んでいない時代でした。一般の人たちの自閉症の理解はなおさらのよかったです。多動で、目を少しでも離すと、家から飛び出し、近所のお年寄りを

押してけがをさせるなど、近所に謝りにまわる日が続きました。

養護学校へは中学部から入学。肢体不自由児が中心だった向日が丘養護学校が知的障害児も受け入れるようになった時期でもありませんでした。肢体不自由の子供さんを押すこともあり、気の休まることは一日もありませんでした。

そんな中、中学部2年生の時にお父さんが病気で亡くなり、お母さんが事業を継いで経営者に。無我夢中で子育てと仕事に取組むことになりました。一時は、猛さんを施設に入所させようとも考えましたが、「施設に入れたら、お母さんの生きがいもなくなるのでは」との話を聞き断念し、今日まで家庭でがんばっていらっしゃいました。



共同作業所あらぐさは、猛さんをらくむお母さんの仲間です。スタートしました。高等部卒業を前に養護学校の先生方と話し合い、手をつなぐ親の会やご一緒に共同作業所をつくる会の方々と一緒に、あらぐそを作ることにしたのです。古紙回収や物品の販売、バザーなど資金集めに奔走。自宅を使って夜遅くまで会議もしました。

それから24年が経ち、猛さんも随分と落ち着いてきました。「あの頃（大変だった時期）のことを思うと、『いや』が言えるなど言葉でのコミュニケーションがとれるようになった」とおっしゃいます。



それでも、何かのひょうしに攻撃的な行動が出ないか、常に気を引き締めておられま

す。  
あたりでは、キーケースなどにスマホホルダーが得意です。またヒース作業やアクリルたわしの縫い詰め、花栽培の土入れやポットへの土入れなど、いろいろな作業をこなしています。毎日おひろひろ通しついでを楽しまれています。

重いものを運ぶのがしんどくなってきたお母さんがかわって、ふたの上げ降ろしや灯油を運ぶような手伝いもしてへくれたりうづなったりして、その話を聞かれます。

### ヘルパー制度利用のさきがけ

こうしたご本人の支援を受けながら猛さんを育てていってあげましたが、養護学校時代からお世話になったご縁がゆえに、まずヘルパーとして来てもらっています。休日のお出かけは、電車に乗って野球やプロレスの観戦、コンサートの鑑賞なども行きます。土曜日は、用事を済ませてもらっています。

お母さんのお仕事は、今では猛さんのお姉さんに譲りました。あいた時間に旅行に出かけるのを楽しみにされています。猛さんと一緒に旅行のつもりでも、飛行機が嫌いな猛さんは「（ほくほ）行きませぬ」の返事。

お母さんが以前に長期に入院された時も、病院にヘルパーさんというしょにお母さんを見舞い、納得して家で過ごされたそうです。

ヘルパーなどのさまざまな制度を活用しながら、養護学校時代の先生でも今でも親交をもっておられるなど、多くの人たちのおかげの中で、猛さんを育てていられたことがうかがえます。

### 親と子の健康とこれから

かつて施設への入所も考えたことのあるお母さんですが、あらゆりが目指している「ケアホーム」について、「今の猛は、いいかもしれない。実現すればいい。親として出来ることをしたい」と。しかし、「体がいついかなかのど、申し訳ない」ともおっしゃいます。「自分の健康を不安をもちつつあり

ますが、猛さんの将来をそれ以上に心配しておられます。

猛さんの体重は以前100kg以上もありましたが現在は75kgになったのも、食事と運動のおかげ。大好きな焼肉やご飯の量も制限しています。おやつも大好きですが、健康のことを考えて少しにしています。おやつが見つけられないように、お母さんは隠したの鍵のかかるところにしたりするのですが、「すべて見つかってしまいます」と、二人の「知恵比べ」を笑っておられます。

お母さんの楽しみはお料理。煮物や鯖寿司を作るのが好きだそうです。ハワイにもまた行きたい、与論島にも行きたい。黒のスパッツに白いなフリンターの上着が似合っておしゃれなお母さん。その願いがかなうよう祈っています。



猛さんの習字作品

## 建設資金・3000万円募金

たくさんのご協力ありがとうございます  
目標達成までよろしくお願いいたします

あらぐさ後援会・建設支援委員会

目標額	募金いただいた額	協力いただいた人数 (件数)
3000万円	7,070,678円	359人

「あらぐさ通信No.75」で、皆さまにお願いしました「建設資金3000万円募金」は、6月末現在上記の金額が集まりました。たくさんのご協力ほんとうにありがとうございます。目標達成まで引き続きご協力をお願いいたします。

ご協力の輪を広げるために  
.....こんな取り組みをしています.....

### 募金箱を医院・美容室・商店においていただいています

個人のお宅でも、貯金箱として募金をためていただいています。

○募金箱を置いていただける方やご紹介いただける方はご連絡ください。

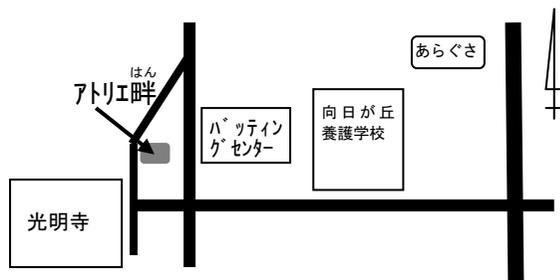


### 知人や親戚に手紙をだして、募金をお願いしていただいています

○募金趣意書や振り込み用紙が必要な方には、すぐに送らせていただきます。

### 「アトリエ畔」で支援絵画展・創作展が開催されます

光明寺門前(北50m)にある「アトリエ畔」では、地元の作家によるケアホーム支援の絵画展・創作展が、9月から毎週土曜日と日曜日に開催されます。ぜひお立ち寄りください。



### 地域の集まりや学習会で訴えをさせていただいています

○どこにでも出かけてお話しをさせていただきますので、ぜひお呼びください。

今号にも、全員の方々に募金のお願いリーフレットと払込用紙を同封させていただきました。ご活用いただきますようよろしくお願いいたします。

「協力いただいた方々」

(後援会加入・募金)

順不同 敬称略 7月15日現在

青木 克之	井手 幸代	大坪 晴美	木原 應	北川 晃司	北川 晃司	岸本 佐知	岸見 博
青山 理加	伊藤 和雄	大西 孝司	木村 彰夫	北村 民子	北川 晃司	岸本 佐知	岸見 博
赤城 博子	伊藤 勝久	大西 孝保	木村 悦子	木下美智子	北川 晃司	岸本 佐知	岸見 博
赤堀 彰男	伊藤 五郎	岡田喜代美	木村 崇	嶋本 美恵	嶋本 美恵	嶋本 美恵	嶋本 美恵
浅井 真美	伊藤 澄子	岡田淑子	木村 秀人	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子
浅倉 静代	伊藤 哲夫	岡本 敦子	久保 節子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子
芦田 昌夫	伊藤 良彦	岡本 健一	雲川 雅美	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子
飛鳥井佳子	井上 敏子	岡谷 千鶴	倉田 朋良	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子
東 俊明	井上 光江	岡山 博一	鞍貫 梢	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子
厚地 芳美	今井 糸枝	小川真寿美	小池 一栄	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子
阿部 幸恵	今井 健二	小川麻友美	粉川 晴美	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子
天野 正弘	今井 三郎	奥山禎二郎	小林 圭子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子
天野 きみ	今井 正	奥山 康代	小林 正美	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子
荒賀 和子	今井 千代子	尾谷 健二	小美智江	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子
粟田 士郎	今井 保子	小野 厚子	小山 昌代	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子
粟田 紀江	今井 雄次	小野 信子	小山 昌代	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子
阿波谷陽子	今田夕工子	小幡 順子	近藤 牧子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子
粟野 賢	今西 正昭	甲斐 幸子	西古 永吉	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子
飯山 秀子	岩倉 美希	垣内 望美	斎藤 重男	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子
井垣 優	岩崎 英雄	垣内 望美	崔本 鐘光	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子
生島 澄夫	上田 義博	垣内 望美	坂本 憲哉	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子
池辺俊太郎	上野志保子	掛川あつさ	坂本 幸子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子
井古テ儿子	浦上 美樹	陰山 三鈴	坂本 幸子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子
石井 憲生	浦中 孝義	勝山 廣美	相良 乙若	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子
石田 秀子	浦中テ儿ミ	勝山 廣美	佐々木慎介	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子
石橋 睦	追立富慈子	加藤伊久子	佐々木久子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子
石原 洋子	大江 恵子	加藤 聖子	指田美佐子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子
井尻あゆみ	大江 貴光	加藤 知之	佐藤 敦子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子
泉 千恵子	大江 貞佳	加藤 ひろ子	佐藤 敦子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子
五十樓福男	大久保久江	川崎 啓司	猿橋 光寛	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子
一谷 孝	大久保久江	川崎 啓司	澤田 道江	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子
伊地知洋晃	大槻 典子	河原 克美	塩満 喬子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子
伊地知有華	大槻 裕子	河原 克美	塩満 喬子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子
一箭 浩志	大槻 裕治	河原 克美	塩満 喬子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子	清水 敏子

### 第33次国会請願署名・募金のお礼

皆さまにご協力をお願いしました「きょうされん第33次国会請願運動」は、署名4,383筆、募金168,897円が集まり、いずれも目標を達成することができました。

あらぐさ後援会や「あらぐさ通信」読者の方からは、郵送にてたくさんのお名前や募金を寄せていただきました。また、地域のさまざまの団体にもご協力いただき、署名・募金を集めていただくことができました。職員は、スーパー前で宣伝と署名活動に取り組み、市民の皆様へのご支援を訴えることができました。ご協力いただきました皆さま方に、心よりお礼を申し上げます。

きょうされんでは、全国から集まった120万筆あまりの署名を全ての国会議員に届けました。あらぐさからも、2名の職員が参加しました。その結果、衆・参議院合わせて246名の国会議員によって両院に紹介され、両院の厚生労働委員会に付託されました。しかし、通常国会が法案や請願の審議が行われないまま閉会したため、今回の請願は「審議未了」で、残念ながら「不採択」となりました。

障害者自立支援法の廃止とそれに替わる新しい法律の制定、障害者の福祉充実の取り組みを引き続きすすめてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

社会福祉法人 あらぐさ福祉会

### シリーズ⑧ あらぐさと私

堀江幸男さん



今回は、「みんなのつどい」で楽しい腹話術を披露していただいた、堀江幸男さんにお話をうかがいました。

「人は、成長する環境や社会の仕組みの中で、ゆがめられてきます。私の信条は、『人間は本来悪い人はいない』。このことを確信して人に接しています。」と話される堀江さん。働いておられた時は、会社の労務政策もあり、「人間疎外」の状況におかれましたが、退職後は、地域や各種の組織、サークルの世話役としてたいへん多忙な毎日をお過ごしておられます。

以前から、老人ホームや養護施設で懐メロと民謡を歌うボランティアとして活動をされていました。腹話術は、5年ほど前から練習を始められました。「相棒」の人形が牛乳を上手に飲むマジックを取り入れたり、人形が楽器を弾くなど、その熱心な練習ぶりがうかがえます。

長いあいだ、京都市北区の法人施設を、後援会員として応援されてきました。お知り合いの子供さんに歩行困難な方がおられ、年に数回、車で野外に一緒に出かけておられます。「親には甘えて、だたをこねる子供さんも、私の言うことは、案外聞いてくれるんです」とやさしくおっしゃいます。

「みんなのつどい」では、最後まで一緒にたのしく参加していただきました。おとくにバオさんと一緒に踊りの輪ができたのが印象的だったと語っておられました。これからも、希望があれば、懐メロや民謡、唱歌など仲間の方々と一緒に来ていただけるようです。

平成4年6月5日 第3種郵便物承認(毎月1回25日発行) 2010年8月14日発行 KTK増刊通巻第3559号 発行所 京都障害者団体定期刊行物協会  
〒600-8143 京都市上京区堀川通丸太町下ル中之町519 京都社会福祉会館4階 京都難病連内 発行人 高谷修 頒価500円(購読料は会費に含まれています)